

おおたき こうすけ 市議会レター



市民のみなさんの声を届ける
9月より議員活動をスタート。保育士経験を活かして12月議会にて一般質問。「誰もが安心して暮らせるまちを目指して」地域の抱える問題へ着手。

○ごみの減量化について

経済環境部長 令和6年度から10年間を計画期間とする君津市一般廃棄物処理基本計画の策定を進めているところである。ごみの減量化の推進においても、生ごみの減量化は重要な取組の一つであると認識しております。当該計画の中で、水切りの徹底や、購入費用の一部助成をしている生ごみ処理処理機等の活用、買物や調理を計画的に行うことで賞味期限切れにより発生する食品ロスを削減することなど生ごみの減量方法の周知啓発も含め減量化、再資源化を推進していくことといたしております。

要望 本市で7.6億円の焼却処理費。(R

4)ごみの分別19種類県内トップクラ

ス。市民の意識が高い。「水を絞って捨て

る」「堆肥」へと利用価値を変え、循環型

社会に取組む一助になることを要望する

「支出を抑え、支援へ捻出。」



○健康体操について

福祉部長 フレイル(健康と要介護の間の虚弱の状態)を予防し、健康寿命の延伸が重要。本市では、高齢者向けにきみづ健康体操、健康増進事業、屋外運動習慣化事業、介護予防教室を実施。体を動かすとともに仲間との会話による交流につながっている。高齢等の理由で教室への参加が難しいとの課題もある。

大滝 屋外型では、地域指導員を配備。体力測定も年一度行い、利用者とのコミニティを担う。90ある運動教室、70は自主化。自主運営の課題を伺う。

福祉部長 アンケート実施。運動講師の派遣が希望者多数。運動指導年2回、体力測定年1回に増やし、対応。運動以外で口腔ケア栄養講座、疾病重症化予防の講座を実施。

要望 自主化でのマンネリ化。住ん

でいる地域以外でも足を運んで交流

できる体制づくり(自治会費で賄う

集会所の為)

「地域指導員が地域を見守る」



○自治会長、民生委員の担い手について
市民生活部長 自治会加入率の減少(本市62%、市街地58%全国72%)担い手の高齢化が課題。自治会活動の手引き作成、各自治会への配布、ホームページ掲載、市内外からの転入者には、案内配布、自治会連絡希望票配布自治会への加入促進に取り組む。

今後は、自治会回覧の電子化、デジタル化について調査・研究をする。本市では、公民館の対象区域ごとに、住民の主體的な活動、地域コミュニティの活性化を目指す「地域づくり協議会の制度づくり」を進める。当協議会は、地域

住民共有の課題に、地域住民が自主的に取り組むもので担い手の確保等、期待されることから各地区での発足に向けて取り組んでいる。

大滝 自治会と地域づくり協議会は別組織ですか、お伺いします。

市民生活部長 別組織ですが自治会の方も含め、これまで地域活動に活躍された方、女性や若者の参加を期待している。



要望 自治会活動が盛んな事例の紹介、周囲の自治会に伝える。自分たちが住んでいる地域のことを自分事として考えていける体制を進めていただきたい。

○市街地における移動ニーズについて

企画政策部長 君津地区でも家からバス停まで遠い等の声が届いています。市街地の運航ダイヤの調整乗り継ぎの利便性の向上を図る。また、タクシー等を含めた公共交通機関で利用できる利用券を高齢者へ発行。外出支援に取り組んでいる。今後、公共交通の在り方が課題。利用者の目的に合わせた福祉や経済、他分野との連携を検討している。

大滝 外出支援では、75歳以上の要介護認定の方、要介護支援で非課税世帯の方へタクシー利用の助成75歳以上の方へ交通利用券の発行。利用者も年々増加している。他分野との連携(一例)山梨県韮崎市、北斗市両市では、タクシー会社の協力のもと買い物見守り代行を行う。

要望 市民の意見を伺い、公共

交通の在り方を機会を設け、進

めていただきたい。

「免許返納しても安心して

外出できる交通網」



「子育てが楽くなるまち」を目指して

○保育士の処遇改善について

健康こども部長 役職・経験等に応じた加算や、国・県の補助制度を活用した賃金の継続的な賃上げ等に取り組んできました。これらは、事業者から資料提出を求め、保育士等に支払いが行われているのを確認。本市でも、県に対しさらなる処遇改善を要望しているが、保育士の賃金が全産業の平均賃金より依然下回っている。今後も国や県、近隣市の動向を踏まえながら、保育士の処遇改善に有効な施策を調査・研究していく。

要望 保育士の賃金、380万円、全職種では489万円の年収。100万円の開きがある。本市では保育士一人当たり、県・市にて1万円ずつ計2万円の支援を現在、行っている。令和4年度にて国の支援が廃止。国で運営費へのベースアップを図る形で維持している。賃金台帳で保育士への支払いを確認を続けていくとのこと。

「保育士の皆さんが安心して子どもたちと向き合うため」にも、県への要望も含め、処遇改善の有効な施策の調査を続けていただきたく、強く要望する。



○小糸川沿線の市道の速度抑制

(君津新橋～外箕輪方面1.2km)
○学校給食の地産地消41.2%(4市産)

○潜在保育士の状況について

大滝 保育士不足の解消には潜在保育士の活用が必要だと考えます。市内の保育士証を持っている市民の復職を支援する取組を行っていただきたいと考えますが、見解を伺う。

健康こども部長 潜在保育士の退職理由は、職場の人間関係、給料が安いこと、仕事量が多いことなどが挙げられており、条件に合った職場を探すサポートが重要である。県では、潜在保育士の再就職を支援する為、ちば保育士・保育所支援センターを設置している。就職準備金の貸付や保育料の一部貸付を行う。市では、これらの支援情報を広く周知するとともに、潜在保育士の再就職に向けた支援に取り組んでいく。

大滝 全国に160万人の保育士の資格を持っている方がいます。しかし、100万人が潜在保育士といわれている。「市内在住の方で保育士資格をお持ちの方を対象にした講習会、研修会、お話し」等の企画を検討いただき、潜在保育士がやってみようかなと思えるきっかけづくりが必要ではない

か。市外在住で、君津市内の保育園で勤務。出産を理由に退職されたケースがあります。

大滝 市外在住で、君津市内の保育園で勤務。出産を理由に退職されたケースがあります。

出産後、復帰しようとして子どもを君津市内の保育園へ預けようとしても預けられないと君津市内外での潜在保育士も含め、保育士として働きやすい環境整備を進めていただきたいのですが見解を伺う。



健康こども部長 保育園の入園調整には、保育の必要性を点数化して審査している。保育士で市内の認可保育施設で就労している、就労予定の方には、待機児童解消の観点から加点を行っている。今後も潜在保育士の再就職に向けた支援を検討していく。

大滝 潜在保育士の方々は、ブランクへの不安を感じている方が多い。しかし、復帰できるサポートが以前より充実。千葉県が行う潜在保育士等マッチング強化では、現状に合わせた研修事業を行う。11月には、子ども家庭庁から発表された潜在保育士の復職支援強化に乗り出す。保育所等が、業務を手伝う保育補助者として雇用した際に補助金を支給するもの。

要望 ぜひ、潜在保育士への対策をいろんな角度から見つめ、君津市で働きたいと選んでいただけるような環境整備を行っていただきたいと強く要望

○障害のある子を持つ親の就労について

大滝 障害のある子を持つ親においても安心して就労できる環境が必要だと考える。自宅での生活を中心とする、重度の障害のあるお子さんに対する障害福祉サービスの提供体制について、現状を伺う。

市長 障害福祉サービスを利用する際は、相談支援専門員等がお子さんの状態やご家族の状況、ニーズ等を伺いながら事業所間の調整を行い、サービス利用計画を作成している。計画に基づき、障害福祉サービス等を組み合わせ

て利用することで就労できている方々もおりますが、障害の状態、ご家族の状況は様々であり、利用者全てのニーズを満たすことができるよう、関係者と連携を密にし、今ある資源を最大限生

かして対応している。障害福祉サービス提供体制の充実に努め、お子さんの障害を理由に就労を諦めることがないように、それぞれの希望を実現できるように全力で支援し、誰もが生き生きと生活できる地域共生のまちづくりを推進していく。

大滝 独り親で、重度の障害を抱えているお子さんもいます。親の就労には障害福祉サービスが必要不可欠である。在宅での福祉サービスでも、重度の障害がある方が利用できる施設は、生活介護と日中一時支援の組合せ。



大滝 日中一時支援の目的、保護者や家族の介護者の就労支援及び一時的な休息が必要。第3次君津市障害者基本計画のアンケート結果では、必要と思う就労支援では、「職場の障害者理解」「職場の上司や同僚に障害の理解があること」「不足している支援のサービ

スについても相談支援ということでも不安を抱えている方が多くいます。「これからの生活で不安なこと」では、「自分の健康」、「障害のこと」、「経済的なこと」、「自分が高齢になつてからのこと」が挙げられている。

大滝 現在、日中一時支援事業の中でも、障害の程度によっては受け入れることが難しいことがあるようです。「就労時間を延ばそうとしても、預け先がなければ、経済的不安を取り除くことはできません」。サービスの組合せが難しい場合、在宅の利用者は、送迎の時間に間に合わせるように仕事を短時間で切り上げて勤務するしかない。

要望 仕事の時間を増やすことで生活の安定を図る上でも、日中一時支援の充実を求めていきたい。君津で障害を抱える子を持つ親が安心して暮らせることは、これから君津を選ぶきっかけを作る。

○若い世代が望む公園の整備について

大滝 内みのわ運動公園プールが廃止され、子育て世代が過ごせる場所がなくなっている。新しい施設を作るのではなく、「水遊び場」「木陰」「日差しを遮る工夫」により、市民や子育て世代が使いやすいようにリニューアルすべきではないか。

要望 本市に91の都市公園あり。低年齢に特化した公園。井戸水を含めた水遊びできる公園等、維持管理の観点から、市民から広く伺い、反映させてほしいと強く要望する。